



2022年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年9月9日

上場会社名 株式会社イムラ封筒
コード番号 3955

上場取引所 東

URL <https://www.imura.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 井村 優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 食野 直哉 (TEL) 06(6586)6121
兼経営企画部長

四半期報告書提出予定日 2021年9月13日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第2四半期の連結業績（2021年2月1日～2021年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	10,709	△8.2	938	0.1	1,022	1.1	721	10.9
2021年1月期第2四半期	11,659	△6.5	937	30.5	1,010	33.0	650	31.1

(注) 包括利益 2022年1月期第2四半期 692百万円 (45.5%) 2021年1月期第2四半期 475百万円 (14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	71.81	71.19
2021年1月期第2四半期	64.24	63.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	18,779	14,470	76.8
2021年1月期	18,674	14,072	75.1

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 14,419百万円 2021年1月期 14,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	ー	0.00	ー	20.00	20.00
2022年1月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2022年1月期（予想）	ー	ー	ー	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	1.2	1,020	16.8	1,100	4.2	750	13.6	73.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期2Q	10,729,370株	2021年1月期	10,729,370株
② 期末自己株式数	2022年1月期2Q	704,725株	2021年1月期	605,875株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期2Q	10,044,795株	2021年1月期2Q	10,125,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在において経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停滞等により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの事業領域に影響を及ぼす郵便及びメール便の取扱数量は、前年同期比横ばい圏内で推移しており、需要回復の兆しは未だ確認されておりません。ダイレクトメール市場においては、「折込・DM郵便料（経済産業省公表）」が増加に転じるなど一部で回復の兆しを確認されるものの、郵便通数の増加には結びついておらず、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、「Give & Give & Give（全ての人に最高の付加価値を届け続ける）」をテーマに掲げ、「変革とイノベーション（革新）により新たな成長軌道を実現し、企業価値の更なる向上を図ることにより全てのステークホルダーに最高の付加価値を提供する。」を基本方針とする3か年の新中期経営計画「IMURA VISION 2030 Stage I」をスタートさせ、新生イムラの基盤づくりを、全社を挙げて進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、コロナ禍による日本経済の大幅な停滞に伴う需要の後退に加え、前期の官公庁大口案件の剥落の影響もあって、107億9百万円（前年同期比8.2%減）となりました。損益面につきましては、付加価値の高い商品・サービスの提案等収益性を重視した各種販売施策の実施や固定費の削減に努めた結果、営業利益は9億38百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は10億22百万円（前年同期比1.1%増）とほぼ前期並みとなり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億21百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（パッケージソリューション事業）

官需による一部下支えがあったものの、イベント告知等のDM用封筒の減少をはじめとして、コロナ禍による経済活動後退による需要の落ち込みにより、売上高は79億62百万円（前年同期比9.3%減）となりました。損益面では、内製化の推進や生産性の向上に努めたほか、上述の収益性の改善も加わり、営業利益は6億88百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

（メーリングサービス事業）

コロナ禍による需要の落ち込みがあったものの、既存取引先への深耕活動に加え、官需の取り込みもあり、売上高は20億32百万円（前年同期比1.2%増）となりました。損益面では、積極的な営業展開を図るべく、人員の増強を先んじて実施したこともあって、営業利益は2億24百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

（その他）

情報システム事業及び子会社2社ともに減収を余儀なくされ、売上高は7億13百万円（前年同期比18.0%減）となるものの、販売管理費の抑制や売上総利益率の改善により、営業利益は38百万円（前年同期比121.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億5百万円増加して187億79百万円となりました。これは主に、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が増加し、機械装置及び運搬具が減少したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2億93百万円減少して43億8百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億98百万円増加して144億70百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は同1.7ポイント上昇して76.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億48百万円増加して29億66百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の収入は5億64百万円となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益10億30百万円、資金の減少要因として仕入債務の減少額2億44百万円、法人税等の支払額2億43百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の支出は96百万円となりました。これは主に、資金の増加要因として投資有価証券の売却による収入70百万円、資金の減少要因として無形固定資産の取得による支出79百万円、有形固定資産の取得による支出77百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の支出は3億18百万円となりました。これは主に、配当金の支払額2億2百万円、自己株式の取得による支出1億10百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,922	3,077
受取手形及び売掛金	3,387	3,535
電子記録債権	1,000	1,058
商品及び製品	533	489
仕掛品	207	188
原材料及び貯蔵品	458	388
その他	115	148
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	8,616	8,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,374	1,330
機械装置及び運搬具（純額）	2,093	1,952
土地	3,636	3,644
その他（純額）	389	359
有形固定資産合計	7,495	7,287
無形固定資産	53	115
投資その他の資産		
投資有価証券	1,206	1,191
退職給付に係る資産	672	647
その他	660	687
貸倒引当金	△30	△28
投資その他の資産合計	2,509	2,498
固定資産合計	10,058	9,901
資産合計	18,674	18,779

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,127	888
電子記録債務	1,078	1,073
1年内返済予定の長期借入金	9	10
未払法人税等	276	294
賞与引当金	618	525
その他	954	988
流動負債合計	4,065	3,780
固定負債		
長期借入金	89	84
退職給付に係る負債	82	83
資産除去債務	120	120
その他	244	240
固定負債合計	536	528
負債合計	4,602	4,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,368	1,377
利益剰余金	10,801	11,320
自己株式	△328	△426
株主資本合計	13,040	13,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273	301
退職給付に係る調整累計額	706	649
その他の包括利益累計額合計	980	951
新株予約権	37	37
非支配株主持分	14	13
純資産合計	14,072	14,470
負債純資産合計	18,674	18,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
売上高	11,659	10,709
売上原価	8,633	7,814
売上総利益	3,026	2,894
販売費及び一般管理費	2,088	1,955
営業利益	937	938
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	31
受取賃貸料	10	10
助成金収入	18	29
売電収入	5	4
その他	19	13
営業外収益合計	82	90
営業外費用		
支払利息	1	0
賃貸費用	3	3
売電費用	2	2
その他	2	0
営業外費用合計	9	7
経常利益	1,010	1,022
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	-	11
特別利益合計	0	11
特別損失		
固定資産除却損	6	2
減損損失	56	-
投資有価証券評価損	10	-
特別損失合計	73	2
税金等調整前四半期純利益	937	1,030
法人税、住民税及び事業税	305	257
法人税等調整額	△18	51
法人税等合計	286	309
四半期純利益	650	721
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	650	721

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年2月1日 至 2020年7月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年2月1日 至 2021年7月31日）
四半期純利益	650	721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	28
退職給付に係る調整額	△53	△57
その他の包括利益合計	△175	△29
四半期包括利益	475	692
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	475	692
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	937	1,030
減価償却費	294	297
減損損失	56	-
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2	△2
賞与引当金の増減額（△は減少）	51	△93
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	3	0
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	29	25
受取利息及び受取配当金	△28	△31
投資有価証券売却損益（△は益）	-	△11
支払利息	1	0
固定資産売却損益（△は益）	△0	△0
固定資産除却損	6	2
売上債権の増減額（△は増加）	357	△206
たな卸資産の増減額（△は増加）	91	131
仕入債務の増減額（△は減少）	△316	△244
その他	△30	△123
小計	1,450	776
利息及び配当金の受取額	28	31
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△148	△243
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,329	564
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△264	△77
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△11	△79
投資有価証券の取得による支出	△200	△2
投資有価証券の売却による収入	-	70
定期預金の増減額（△は増加）	54	△5
その他	1	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△420	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△15	△1
長期借入金の返済による支出	-	△5
自己株式の取得による支出	△3	△110
配当金の支払額	△151	△202
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170	△318
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	738	148
現金及び現金同等物の期首残高	2,199	2,817
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,937	2,966

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り）に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期連結累計期間において、2020年3月16日及び2021年3月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式117,500株の取得を行いました。さらに、2021年5月18日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。これらの結果、資本剰余金が8百万円増加、自己株式が98百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金が1,377百万円、自己株式が426百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ソリューション 事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,780	2,008	10,789	870	11,659	—	11,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	0	31	17	48	△48	—
計	8,811	2,008	10,820	888	11,708	△48	11,659
セグメント利益	663	251	915	17	932	5	937

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「パッケージソリューション事業」において、山口美和工場閉鎖の決定に伴い、該当する資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては56百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ソリューション 事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,962	2,032	9,995	713	10,709	—	10,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	—	30	65	96	△96	—
計	7,992	2,032	10,025	779	10,805	△96	10,709
セグメント利益	688	224	912	38	950	△12	938

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。